

月出川柳の会 第一三二号 令和六年七月二十八日

予報では熊本市は三十八度と言う猛暑の下の句会になりました。それにもめげず出席者十二名、投句者五名、小学生三名の参加をいただきました。題は「すいすい」でしたが、作句はすいすいとはいかなかったと言う意見が多数でした。それでも身近な佳句が揃いました。来月の句会は、

八月の句会…令和六年八月二十五日(日) 午前十時～十一時四十五分 集会所

題…「掃除」そうじ

七月の句会から、題「すいすい」

* ザル法をすいすい通す多数決

六郎

(政治資金規正法を、「政治は金が要る」と筋の通らぬ屁理屈を言って、政府与党の大多数で決めました。多数決はとことん議論を重ねたうえで物事を決める民主主義的手法ですが、安倍政権以降は、国会での議論そのもので、閣議で決めたことをそのまま数に任せて決めて、多数決を悪用している感です。怪しからん。賛同者多数。)

* 能登の海早くおいでと魚たち

隆子

(元旦の地震で海岸が大きく隆起して、漁港が陸地になって出漁できなくなった能登の海。魚たちはすいすい泳ぎながら、漁師さんたちを待っています。ユニークな着想。句意には沿いませんが、海の魚と言えば金子みすずの「大漁」が浮かびました。「大ばいわしの大漁だ はまは祭りのようだけど 海の中では何万の いわしのとむらい するだろう」早い復興を祈りましょう。)

* スイスイと川柳作る夢を見た

千恵

(いい夢を見ましたね。皆さんが作句に悩んだだけに、この句の軽みに多くの共感が寄せられました。軽みは川柳の大切な要素の一つです。)

* 渋滞に換え道見つけすいすいと

展行

(よかったですね。カーナビが空いた裏道を教えてくれたのでしょうか。渋滞を避けた裏道もつと混みなんてこともありますから。)

* 日傘片手にスイスイ歩く粹な人

英代

(びしっと夏の薄手の着物を着込んだご婦人の姿が浮かび、涼感を覚えます。作者の知人とのこと。)

1/3 * 雑踏をすいすい泳ぐ都会の人

憲郎

(大都市に行くほど人の歩きの速い事を実感します。忙し気に人の間を早足で縫うように。それだけ活気があるのでしようが、東京や大阪の人は話し方まで速く気疲れもします。)

* すいすいと傘寿の道を二人して

まさひろ

(百歳人生とは言うものの、二人して健やかな傘寿の道行きとは、次元の高い願望です。願いが叶いますように。私は老老介護の身ながら、傘寿から付録の余生爽やかに(詠み人しらず)と思っています。前向きの句を戴きました。)

* すいすいとアメンボまねて泳ぎたい

雅子

(すいすいにびったりのアメンボが出ました。水の上を滑るように動くアメンボは、雨あがりの道にでる水たまりにも見ることが出来ました。健軍川にはいるそうです。ぜひお目にかかりたい。)

* すいすいと父母待つ故郷へ気も軽く

せいこ

(ルンルン気分で鼻歌まで出ると付記。里帰りは何歳になってもセンチになります。遠い日の自分に会いに行く故郷 と誰かが詠んだ句もあります。)

* 得意げにすいすい泳ぐ孫の顔

まゆみ

(孫の成長が頼もしく婆ちゃん冥利に尽きるでしょう。プールが始まると、月出小の裏の道を通ると、キヤーキヤーと楽しそうな声が響いてきます。校長先生も教頭先生も監視役だそうです。)

* 夏さかりもう秋ですと赤とんぼ

和博

(温暖化の所為で何もかも季節感が狂ってきました。以前は庭でも赤とんぼを見ましたが、今はシオカラトンボも目にしません。川べりに行けばきつと居るのでしよう。)

* すいすいと波に乗りたい汚染水

伸子

(着想が福島原発の汚染水に広がりました。海洋投棄に反対して、中国など日本からの海産物の輸入を止めるなど政治問題に発展しています。政府によれば無害の処理水なので、以前同様すいすい世界に漁獲を届けたい漁師さん達の気持ちがこの句になりました。)

* スイスイと流れるプール孫の守り

てるみ

(ぐるぐる流れるプールを知りませんでした。周りを追いかけて、孫を見守るのも大変だったのでと想像させられます。婆ちゃんも若かった。)

* とうさんもその又とうさん議員さん

しんこ

(政治を家業とする政治家が目立ち、どんどん政治がやせ細ります。子孫に美田を残さずと言った西郷

どんは偉かった。

* 生きるとはうまく世渡りスーイスイ

洋子

(植木ひとしのスーダラ節ですね。飄々とした人かと思ったら、真面目な人柄だったようです。)

* 操り巧みヨットすいすい地平線

遊位子

(風を読んで帆を操って進むのがヨットの醍醐味です。下五の地平線は水平線の勘違いですが、字余りになりますので、平凡ですが、波の上にしたら。風を読みヨット操る波の上)

* 金魚すくい夢中にさせるスーイスイが

桐子

(夏祭りに金魚すくいのお世話ご苦労様でした。スーイスイと泳ぐ金魚に子供達は夢中。)

* すいすいと思いい流れ胸熱く(子育て中の写真を見るたびに、胸が熱くなります。)

まさひろ

* ルーティーン今日の子定を足に聞く(毎日の仕事ながら、まずは足と相談。)

隆子

* スーイスイと母の特技は平泳ぎ(誰もいない温泉で・・・と付記。懐かしい思い出。)

千恵

* セーヌ川選手を乗せて目指す金(画期的な選手入場。結婚指輪を川に落とした選手も。)てるみ

せいこ

* 手際良くすいすい進む夏祭り(この猛暑下采配と気配りに町内会長さんダウン。)

伸子

* 冥土へとつづく三途をすいすいと(伸子さんは極楽への道ですよ。)

桐子

* ものがたりすいすいはこぶうれしさよ(何事も子や孫の気配りがありがたい。)

桐子

* 日々熱波日暮れの空にとんぼ飛ぶ(猛暑の中にも一幅の清涼感あり。)

遊位子

* 夏祭りトンボが空をすいすいと(トンボまで飛ぶ町内の夏祭り)

英代

* プールいや孫はすいすい爺必死(孫に置いていかれて嬉し淋しの心境か。)

展行

* 人の世はすいすいいかぬ学んでる(そこが人生の味噌、味がでる。)

雅子

* 璃花子さん病乗り越えバリ五輪(奇跡的人間力。メダル以上の快挙。)

和博

* すいすいと泳ぐ姿は夢の中(昔の自分の姿が夢で蘇りました。いい夢でした。)

まゆみ

* お受験の裏口見ている諭吉さま(札束がスーイと通して医学生)

しんこ

* いも畑ひらおよぎしてスーイスイ(遣いつくばって芋掘りした幼い日の記憶。その昔

洋子

今の自宅はからいも畑でした。)

* スーイスイといくほど世間あまくない(出る杭は打たれるのが世の常。心得るべし。)

憲郎

今月の締めに戴きます。)

憲郎

3/3